

第18回 廃棄物対策専門委員会 議事要旨

日時：2018年5月21日（月）15：30～17：30

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第二大会議室

1. 2017年度までの研究開発成果等の概要について

NDF事務局から、廃棄物の処理・処分に係る研究開発成果等の概要について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 研究開発計画において、今までの検討状況をまとめてマッピングすることは、課題の洗い出しや他の課題との関係を俯瞰する意味で非常に重要である。物量や時間、課題の達成状況といった情報も含める形で、継続的に充実化を図っていくべきである。

2. 研究開発成果の統合（廃棄物ストリーム）について

IRIDから、研究開発成果の統合について説明された。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 本廃棄物ストリームの検討は、廃棄物毎に研究計画を立案、管理する上で何が必要かを把握するのに有用である。現場の状況とリンクさせながら、意思決定に活用すべきである。

3. 水処理二次廃棄物（スラッジ、スラリー）の対応状況について

東京電力及びIRIDから、水処理二次廃棄物の対応状況について説明された。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 時間的な制約はあるが、期待する性能の達成に向け、回収システムの構築をモックアップ等の活用も視野に入れて検討してはどうか。

4. その他

- 次回廃棄物対策専門委員会について。

以上